

## 製品安全データシート

### 【 1. 製品名及び会社情報】

製品名：OSパスコート114 トップコート主剤（ホワイト）  
会社名：オンサイト株式会社  
住所：東京都港区虎ノ門 1-1-16 担当部門：技術開発部  
緊急連絡先：オンサイト株式会社 春日部事業所  
埼玉県春日部市中央 1-57-12  
電話番号：048-876-8461 FAX：048-876-8462  
制定日：2012年10月1日

### 【 2. 組成、成分情報】

一般名：高耐候性二液型アクリルウレタン樹脂塗料主剤

化学物質名	含有量 (%)	CAS No.	PRTR 法	備考
二酸化チタン	30~40	13463-67-7		発がん性の疑い
トルエン	0.9	108-88-3		
キシレン	13.0	1330-20-7	1種 #80	
エチルベンゼン	5.7	100-41-4	1種 #53	発がん性の疑い
酢酸ブチル	5~10	123-86-4		
エチルヒキソドネート	1~5	763-69-9		

### 【 3. 危険有害性の要約】

分類の名称：引火性液体、急性毒性物質、その他の有害性物質

危険有害性コメント

- ・燃えやすい液体であり、上記が滞留すると爆発する危険性がある。
- ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- ・発がん性の疑いがある物質を含有している。

### 【 4. 応急措置】

目に入った場合：直ちに、多量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

できるだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早く拭き取る。

大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。

溶剤、シンナーは使用しないこと。

吸入した場合：蒸気、ガス等を対象に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくし安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸をおこなう。

嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の診断を受けること。

蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外、無理に吐かせないこと。

## 【 5. 暴露防止措置】

### 設備対策

- ・取扱設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置については、アースを取るよう設備すること。
- ・取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置かれなような設備とすること。
- ・屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とすること。局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
- ・タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

### 保護具

- ・保護メガネを着用する。
- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の保護服、手袋を着用する。
- ・有機ガス用防毒マスク（フィルタ付）又は送気マスクを着用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。
- ・静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

## 【 6. 物理的及び化学的性質】

状態	: 透明液体	色	: 淡彩色
臭気	: 溶剤臭	沸点	: 124℃～144.4℃
蒸気圧	: 2000Pa (25℃)	比重(密度)	: 1.38(20℃)
pH	: 該当しない	その他	特になし

## 【 7. 危険性情報】

引火点	22℃
発火点	370℃
爆発限界	(下限) 1.1% (上限) 15.0%

反応性安定性 酸化剤との接触により発熱の恐れがある。  
燃焼すると CO、NOx などを発生することがある。  
通常の条件では安定である。

その他の危険性情報：特に無し

## 【 8. 有害性情報】

### 組成物質有害性および暴露許容濃度

物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	LD50(経口)	その他の有毒性
二酸化チタン	4mg/m <sup>3</sup>	10mg/m <sup>3</sup>	2B	7500mg/kg (rt)	発がん性の疑い
トルエン	20ppm	20ppm	3	5000mg/kg (rt)	
キシレン	50ppm	100ppm	3	4300mg/kg (rt)	
エチルベンゼン	100ppm	100ppm	2B	3500mg/kg (rt)	発がん性の疑い
酢酸ブチル	150ppm	150ppm	設定無し	14000mg/kg (rt)	
エチルセロソルベート	設定なし	設定なし	設定無し	5000mg/kg (rt)	

組成物質有毒性 各種有機溶剤は 目、鼻、咽、皮膚を刺激する。  
二酸化チタン、エチルベンゼンには発がん性の疑いがある。

製品有毒性 製品としての安全性試験をしていない。

## 【9. 環境影響情報】

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。  
製品や洗浄水が地面、川、排水溝に直接流れないようにすること。

## 【10. 廃棄上の注意】

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。  
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する放棄および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。  
廃塗料などを焼却処理する場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして焼却処理を委託する。

## 【11. 輸送上の注意】

取扱いおよび保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。  
陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法などに該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる輸送方法に従うこと。  
海上輸送：船舶安全法に定められるところに従うこと。  
航空輸送：航空法に定められるところに従うこと。  
国連分類：3（引火性液体類） 国連番号：1993

## 【12. 適用法令】

消防法：危険物第4類第二石危険等級 油類非水溶性  
労働安全衛生法：引火性の物  
化学物質管理促進法：第1種指定化学物質  
有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤

## 【13. その他の情報】

化学物質の危機・有害性便覧（中央労働災害防止協会）  
原料メーカー製品安全データシート  
製品安全データシート・ガイドブック（日本塗料工業会）  
毒劇物基準関係通知集（化学工業日報社）  
MSDS用物質データベース（日本塗料工業会）  
TLVs and BEIs：2007 (ACGIH)

## 【14. 火災時の措置】

消火剤：炭酸ガス、粉末、泡、乾燥砂  
不適切な消火剤：棒状水

消火方法：指定の消火器をしようすること。水を消火に用いてはならない。  
適切な保護具（耐熱着衣など）を着用する。  
消火活動は風上より行うこと。  
可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。  
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却すること。

## 【15. 漏出時の措置】

### 人体に対する注意事項

- ・ 作業者は必ず保護具(暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用する。
- ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分な換気を行う。
- ・ 漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。

### 環境に対する注意事項

- ・ 漏出物が河川、公共水路等に流れ込むのを防止する。
- ・ 成分の蒸気が大気中へ揮発するのを少なくするため、回収作業は速やかに行うこと。

### 除去方法

- ・ 漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。
- ・ 残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。
- ・ 回収するときは、火花の出ない器具を用いる。

### 二次災害の防止

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・ 漏出した場所の周辺には、作業員以外の立ち入りを禁止する。
- ・ 万一、河川、公共水路等に多量に入った場合、直ちに地方自治体の公害担当者に連絡する。

## 【16. 取扱い及び保管上の注意】

### 《取扱上の注意》

- ・ 容器内の圧力が高くなっている場合は蓋を少し緩めて圧力を抜き蓋をはずす。
- ・ 換気のよい場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。 ・ 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 ・ 静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器は防爆型(安全増型)を使用する。 ・ 帯電防止型の作業服、安全靴を使用する。 ・ 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。 ・ 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。 ・ 取扱後は 手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。 ・ タンク、地下室のような密閉された場所における作業には、局所給排気装置を付け、送気マスク、耐溶剤手袋、耐薬品手袋、保護眼鏡、帯電防止型の保護服、安全靴などの適切な保護具を着用すること。

### 《保管上の注意》

- ・ 日光の直射を避ける。通風の良いところに保管する。 ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 転倒、転落しないように注意する。 ・ 盗難防止のために施錠保管する。

### 《塗装上の注意》

- ・ 塗装時は局所排気装置を稼働させて有機溶剤蒸気が滞留しないようにすること。
- ・ 塗装中は有機溶剤蒸気および塗料ミストにさらされるので、防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスク、耐溶剤手袋、耐薬品手袋、保護眼鏡、保護服、安全靴などの保護具を着用すること。 ・ 長時間塗装する場合は、送気マスクを着用すること。 ・ タンク、地下室の用な密閉された場所における塗装作業には、局所給排気装置を付け、送気マスク、耐溶剤手袋、耐薬品手袋、保護眼鏡、帯電防止型の保護服、安全靴などの適切な保護具を着用すること。
- ・ 塗装作業場に着火源となるものを持ち込まないこと。万一の出火に備えて適切な消火器を準備すること。 ・ 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダストなどは廃棄するまで、自然発火を防止するため水に浸しておくこと。 ・ この塗料の硬化剤はイソシアネート系化合物を含んでいるため、スプレーダストを吸引すると、鼻、のど、気管支等に障害を起こす恐れがあるので、塗装者は必ず適切なマスクを使用し給排気のよい作業環境で使用すること。過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。
- ・ 塗装後の乾燥は換気量を十分に確保し、塗料の臭気がなくなるので、換気を継続すること。

**【ご注意】**

この製品安全データシートは、安全な使用と取扱を確保するための参考情報として現時点で入手できる、性格であると信用できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、多くの情報は弊社外の情報源から入手したものであり、その正確性、確実性を保証することは出来ません。また、製品についていかなる保証をするものでもありません。

記載している健康、安全に関する注意はすべての人、環境、安全、健康面の影響を網羅するものではなく、すべての原料には未知の危険有害性の存在する可能性があるため、取扱には十分な注意が必要です。

製品は化学物質を含んでおりますので、不特定多数の方が利用される場所・物への使用に際しては、塗装の事実を立て看板等で告知するなどし、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への十分な配慮を行ってください。

使用におかれましては、関係法令に従うとともに、この製品安全データシートを参考に、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定の上ご使用下さいますよう、また最新の情報を入手された場合は、最新情報の内容に従って安全にご使用下さいますようお願い申し上げます。